

大森だより

JForest

平成26年10月1日 発行

やみぎ

No. 67

編集発行・大田原市森林組合 栃木県大田原市黒羽田町 222
TEL 0287 (53) 1212(代) FAX 0287 (54) 2877
メールアドレス forest01@jf-ohtawara.or.jp
ホームページアドレス http://jf-ohtawara.or.jp

題字・代表理事組合長
須藤 義朗
印刷・株近代工房



林業を担う
若き技能員！

フロント80事業
北滝の現場

最高気温三十度以上の猛暑の中、北滝の山林に重機の音が鳴り響く。上記の写真は、フォワーダに乗る福島英明さん。今年で三年目の若き技能員です。普段は植付・下刈りといった造林事業に従事していますが、八月から高性能機械の運転も行っています。慣れない運転に戸惑いながらも、一所懸命に作業を行っています。この現場には、他にも新人のオペレーターが入る予定です。林産事業に従事している従来の技能員より、新人の技能員は効率が落ちますが、組合員の皆様の山林をしっかりと手入れいたします。作業班の育成のためにも、ご指導のほど宜しくお願いいたします。

詳しい事業の紹介は後ろの四ページで掲載しておりますので、どうぞご覧下さい。

第三十四回通常総代会開催

去る五月二十七日、第三十四回通常総代会が大田原市役所黒羽支所二階多目的ホールに於いて、総代現在総数一九八名のうち本人出席六十九名書面議決八十六名、委任出席九名、合計一六四名の出席のもと来賓各位のご臨席を賜り開催いたしました。

井上正男副組合長の開会の辞に続き須藤義朗代表理事組合長挨拶に於いて平成二十五年度は二十四度の損失決算を真摯に受け止め役員一丸となり事業計画達成のため、各関係機関の指導により組合員のための森林組合であることを踏まえ、努力を重ねた結果、良い決算をおさめることができたことにお礼を述べ、今後は、組合の経営理念を基本に事業推進と組織強化に努めることを述べられました。

平成二十五年度の各事業に協力を戴いた方の表彰を行い、来賓の大田原市長外各位よりご祝辞を賜り議事に入りました。

議長に須賀川地区の佐藤貞夫氏を選任し、提出した二十五年度決算関係・二十六年度事業計画の承認を含め全議案は、原案どおり可決決定されました。

最後に、組合員の方々には組合事業に対し御理解と御協力を戴き厚くお礼申し上げます。

経営理念

- 一 組合員のための森林組合
組合員のための森林組合を基盤に事業を推進し、組合員の経済的・社会的地位向上を目指す。
- 二 地域林業の要となる森林組合
適切な森林管理を推進し、森林機能の増進・森林の利用拡大に努め、地域林業の要となる組織を目指す。
- 三 森林を次世代に守り引き継ぐ森林組合
森林は機能面はもとより、再生可能な資源として、個人財産であるとともに国民の共有財産であることから、これを次世代に引き継ぐため守り育て続けることを目指す。



↑議長 須賀川地区 佐藤貞夫氏
お世話になりました。



御出席いただいた総代の皆様
に感謝申し上げます。

受賞おめでとうございます

組合事業協力者として今回の総代会にて次の方々を受賞されました。(敬称略)

全国森林組合連合会会長表彰(伝達)

優良技能員功労賞 佐藤 行男(川上)

大田原市森林組合長表彰

木材出荷協力者 東郷 良子外三名(郡山市)

星田 雅人(両郷)

森林国営保険事業契約協力者

藤田 清(南金丸)

優良技能班員

伊藤 宝山(須賀川)
宮崎 祐一(那須塩原市)



佐藤 行男 氏



(木材出荷協力者)
星田 雅人 氏



優良技能員功労賞
佐藤 行男 氏



(森林国営保険事業協力者)
藤田 清 氏



(優良技能員)
伊藤 宝山 氏



(優良技能員)
宮崎 祐一 氏

退職者

屋代 淳

(事業課 課長)

平成二十六年七月三十一日
付けで退職されました。

平成二十六年

春季優良木材(素材)
展示会入賞者

三月十三日、県森連大田原木材共販所にて、春季優良木材展示会が開催されました。

栃木県環境森林部長賞

(ヒノキ小丸太)

宇佐美造林(株)様 (東京都江東区)

栃木県森林組合連合会会長賞

(スギ中丸太)

藤田 正人外一名様(両郷)

(スギ小丸太)

屋代 淳様(須賀川)

入賞おめでとうございます。
また、多数出品のご協力ありがとうございました。



栃木県環境森林部長賞
(ヒノキ小丸太)宇佐美造林(株)様



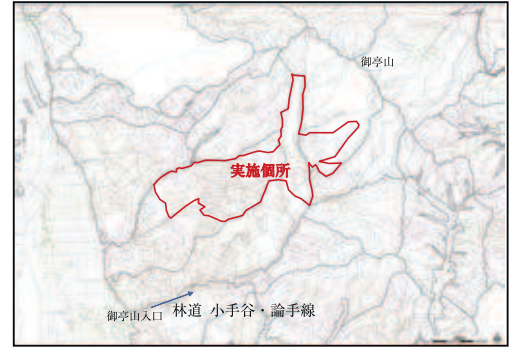
栃木県森林組合連合会会長賞
(スギ小丸太)屋代 淳様



栃木県森林組合連合会会長賞
(スギ中丸太)藤田 正人外一名様

大森だより

平成26年10月1日



昭和五十三年の黒羽・馬頭山林大火災から三十六年が経過しました。その火災により、約一五〇〇haが焼失。当時、激甚災害の指定を受けたほど大きな山火事でした。その後、同時期に再植林され、現在では三〇〜四〇年生のスギ・ヒノキ人工林になっている所が多いです。山林は、山火事後に分配されたため、所有者が細かく分かれています。そのため、作業路網の整備が進まず、当組合では、間伐した木を林地に残す、『伐捨』間伐を行ってきました。この間伐は、間伐遅れの林分の生長の助けになると同時に、貴重な資源を山に残していたことになります。現在、近隣にバイオマス

(Front80)

今年度、新しい事業に取り組んでいます

公益信託 農林中央金庫八十周年

森林再生基金事業

低コスト作業道開設による

施業システム構築とバイオマス活用の促進

大田原市北滝地区（小手谷山西側）

発電所が完成し、今後木材資源の大量の需要が見込まれます。今後伐捨間伐だけではなく、比較的若齢な林分でも収穫する、利用間伐を実施する技量を身につけなければなりません。

今回の事業では、バックホウに刃の付いた『フェラーバンチャ』を用い、伐倒しながら作業道の開設を試みます。当組合では初めての取り組みであり、技能員の育成も行わなければなりません。従来の開設作業に比べ、先行して伐倒する

必要がなく、将来間伐する時に使用できるよう、道幅3m以内の作業道を開設する予定です。また、従来は木材を共販所に運んでいましたが、今回は集材工場やバイオマス発電所等への多様な販売ルートを開拓し、木材資源のカスケード利用（無駄なく有効利用）

の促進を試みます。

そして、今後他地区でも実施できるよう、技能員を育成し、また北滝地区をモデル林とし、森林所有者の関心を高め、間伐を推進し、地域活性化を目指す予定です。今回間伐を実施させていただき皆様には、御心配や御迷惑をおかけするかもしれません。何卒御指導御協力の程、宜しくお願いたします。



フェラーバンチャ作業道作設中

完成した作業道



今年二月十四日の大雪は、栃木県においても甚大な被害を及ぼしました。今回、「森林組合の日」の行事として、雪害の被害を受けた鹿沼市入栗野地内の現場、および雪害被害木を受け入れている県北木材協同組合のバイオマス発電所を見学に行きました。組合長、副組合長、理事、林業振興会、職員、合わせて二十四名が参加しました。

県内の雪害被害は、造林地で八九二ヶ所・面積二五三四ha。その内、鹿沼市が約五二%を占めます。林地崩壊は、二九二ヶ所・一八九ha、その内鹿沼市で約六〇%の被害を受けました。鹿沼市は、県内でも雪害被害の大きかった地域です。雪害は、手入れの有無に関わらず発生しており、降雪時の風が影響しているのではない

かと考えられています。発生場所の多くは、風が通る沢沿いの山林でした。この様な雪害の発生した山林は、皆伐し、再度植栽を行うか、一部皆伐、間伐を組み合わせて、山林の回復を図るようです。

雪害により、幹折れや曲がった材の一部は、那珂川町にある県北木材協同組合のバイオマス発電所に利用されません。バイオマス発電所は、現在試験運転中ですが、稼働すると年間五万トンの材を発電に利用します。雪害は、大田原も例外ではありません。両郷地区、南方地区の部の山林で、雪害の影響が見受けられました。組合員の皆様におかれましても、御自身の山林を再度確認し、雪害の影響がありましたら、当組合にご連絡下さい。

「森林組合の日」の行事

「皆伐施業の推進と災害からの
着実な復旧に向けて」
をテーマに開催



鹿沼市入栗野地内(穴の沢・雪害地現場)



那珂川町地内(バイオマス発電所)

**8つの災害からあなたの森林資産を
お守りいたします。**

《森林国営保険》

森林の生長期間は、長い年月と多くの資金をかけなければなりません。

その間、森林が山火事や台風、豪雨等による気象災害で思わぬ損害を受けることもあります。

そのような時、「森林国営保険」に加入していると、契約内容に従い、各損害を補償するための保険金が支払われ、復旧に必要な費用に充てることができます。この機会に、加入してみてもはいかがでしょうか。

詳しくは森林組合へお問い合わせください。





特殊な伐採は お任せください

庭や屋敷周りにある大きな木や、電線などに接触しそうな木、簡単に切り倒すことのできない古木など、上から順番に吊るしながら伐採する特殊作業まで、伐採の依頼に応じています。

お済みですか

* 相続加入届

組合員の方が亡くなり市役所で相続手続きが済んでも、組合とは連携されていませんので、名義変更の手続きをして下さい。

* 林業後継者届

組合員の方が森林経営を委託する者がある方は林業後継者届を提出して下さい。

事務的なものは後継者の方のお名前で処理させていただきます。(同一世帯であること)

* 面積変更(増資・減資)届

山林を売買され山林所有面積に変更が生じた際、所有面積変更届の手続きをして下さい。(各届出用紙は、当組合にあります)

* 無断伐採をすると違法になりますので伐採届を大田原市へ提出して下さい。



緑のジュウタンに鮮やかに!

毎月 第3木曜日 森林の相談日を開催!

- * 森林管理に関して疑問に思うこと・解らないこと・つまづいた時。
- * 山林を売買したい時は、**林地供給事業**をお勧めいたします。当組合では、組合員の方の山林売買の斡旋をします。林地供給事業組合手数料は売買価格の3%です。所得税の特別控除が受けられます。

大田原木材共販市況(9月11日)

平均単価 12,535円/㎡
販売量 2,434㎡ 販売率 100%

樹種	規 格		単 価		25年同月単価対比	
	長さ(m)	末口(cm)	平均(円)	高値(円)	平均	対比率
す ぎ	3.00	11~14	11,790	11,980	7,760	152%
		16~20	14,810	14,980	14,730	101%
		22~28	14,800	15,180	14,230	104%
	3.65	22~28	14,720	14,720	14,270	103%
		30~	14,560	15,330	15,040	97%
		4.00	10~14	14,460	14,530	10,040
4.00	16~20	0	0	13,050	0%	
	22~28	13,920	14,390	14,020	99%	
	30~	13,350	15,030	16,410	81%	
ひのき	3.00	11~14	11,790	11,890	7,590	155%
		16~28	19,450	20,210	20,690	94%
	4.00	10~14	17,890	17,890	12,890	139%
		16~20	21,040	21,070	25,360	83%
		22~28	23,230	27,980	24,770	94%

* 市況及び入荷状況

スギ小径材、柱材はともに保合。中目材については、虫の影響が少なくなっており小幅高こ。ヒノキは前回市と同様で品薄高で、曲がり材についても入札枚数が多い。

入荷については展示会に向けて順調です。

* 秋季優良木材(素材)展示会開催されます。

日時 平成26年10月23日(木)

場所 大田原木材共販所

皆さんお誘い合わせの上ご来場下さい。

八溝材を心ゆくまで味わって下さるよう、

関係者一同お待ちしております。

豚汁を用意してあります。

「お知らせ」

平成26年10月

大田原市森林組合のホームページを開設しました。みなさんの声を聞かせて下さい。

<http://jf-ohtawara.or.jp>

